

< 軍事史、医療・医学史、ジェンダー史 >

医療と戦争の歴史アーカイブ Medical Services and Warfare

NEW! ペニシリンの発見に関する資料を含む **Module 2** リリース!
医療と感染症の歴史を軍事的視点からひもとくアーカイブ

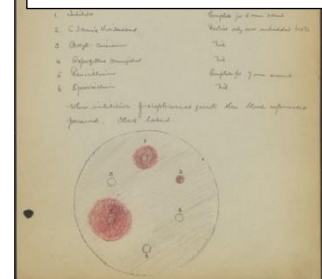
ナイチンゲールが活躍したクリミア戦争から、1928年のペニシリンの発見まで、医療行為と戦争は切っても切れない関係にあります。19世紀後半から20世紀前半にかけて戦争の影響を受けた医療の経験と技術的な進展が、今日のわたしたちをとりまく医療行為をかたちづけてきました。



本コレクションは、戦争および紛争における歴史資料を広範に収集するもので、特に、クリミア戦争(1853年)、アメリカ南北戦争(1861-65年)、第一次世界大戦(1914-18年)、および第二次世界大戦(1939-45年)に焦点を当てています。戦時以外の医療行為への影響としても、以下のような事柄に関する記録を収録しています。

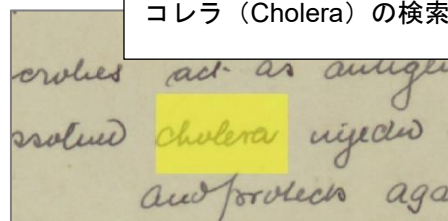
- ・1918年のインフルエンザ(スペイン風邪)の流行
- ・アレクサンダー・フレミングによる1928年のペニシリン発見
- ・傷痍兵の戦後のリハビリテーション(社会復帰)

ペニシリンの発見に関するフレミングのノート



ナイチンゲールやフレミングの個人文書は、**手書き文字認識 (Handwritten Text Recognition=HTR)** 技術によってフルテキスト検索が可能です。これにより、医療発展の過程を明らかにし、戦時中の医療行為と革新に対するあらたな研究アプローチが可能になるでしょう。人々がどのように負傷や感染症とたたかい、医学、看護、公衆衛生の発展に取り組んできたのか、過去の資料からひもとく画期的な資料群です。

手書き文字認識
コレラ (Cholera) の検索例



◎本データベースは、以下の2つのモジュールからなります。

Module I: 1850-1927 クリミア戦争から南北戦争を経て第一次世界大戦へ。スペイン風邪流行も含まれます。

NEW! **Module II: 1928-1949** 戦間期から第二次大戦期を経て20世紀半ばまで。ペニシリンをはじめストレプトマイシンなどの抗生物質に関する資料をも収録。

(Adam Matthew Digital, GBR / 日本総代理店: 丸善雄松堂)

- 表示価格は概算参考価格(税抜)です。概算参考価格にはライセンス料と手数料が含まれます。掲載製品はリバースチャージ対象製品です。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由による価格の変更や掲載タイトルの変更につきましては、予めご了承の程お願い申し上げます。
- 正式なお見積もりは、別途ご用命ください。

M MARUZEN-YUSHODO 丸善雄松堂株式会社

学術情報ソリューション事業部 研究支援統括部業務支援部 販促グループ <http://yushodo.maruzen.co.jp/>

〒105-0022 東京都港区海岸 1-9-18 国際浜松町ビル Tel:03-6367-6025 Fax:03-6367-6188 e-mail: kenkyushien@maruzen.co.jp

モジュール I: 1850-1927

クリミア戦争から南北戦争をへて第一次世界大戦へと至る、北アメリカとヨーロッパにおける戦争下の医療行為に関する軍事的、科学的、専門的、そして個人的な視点を紹介。傷痍兵のリハビリテーション(社会復帰)、看護実践、戦争における兵士の心理的トラウマに焦点を当て、レントゲン撮影、整形外科、義肢技術、公衆衛生などの医療行為の発展の過程を網羅しています。ほかにも、南北戦争の兵士の家族との通信など、医学だけではない戦争と社会の関わりについて幅広い視点で多様な資料を提供しています。

【収録資料一例】

- ✓大英図書館所蔵のフローレンス・ナイチンゲール文書コレクション:彼女の 5,000 を超える書簡、メモ、報告書類が収録されており、今回、手書き文字認識 (HTR) 技術によってかなりの程度まで検索が可能になりました。
- ✓米国の外科医にして「戦場治療の父」と呼ばれたジョナサン・レターマンの書簡と覚書のコレクション
- ✓リーズ大学所蔵の戦史研究者ピーター・リドルによる”第一次世界大戦コレクション”より、緊急看護奉仕隊 (VAD)と医療関係者の個人文書
- ✓アメリカ南北戦争における詳細な患者名簿と死因を含む死亡率データ
- ✓フーバー戦争・革命・平和研究所(フーバー研究所)所蔵の”アメリカ赤十字社コレクション”
- ✓アメリカ南北戦争に従軍した両軍の兵士および看護師から家族への手紙
- ✓書誌学者ダグラス・C・マクマートリー・コレクションより、障害と傷痍兵リハビリテーション(社会復帰)に関する 20 世紀初頭までの印刷物
- ✓テキサス大学附属ブリスコー米国史センター所蔵のアメリカ南北戦争における病院台帳
- ✓1918 年のインフルエンザ(スペイン風邪)の流行への対応を記録したカナダ国民健康省の通信文書
- ✓人口関節(義足)、手術器具、医療服などの医学的人工物の画像

モジュール II

第一次大戦後の戦間期から第二次大戦期を経て 20 世紀半ばまでの近代医学と患者治療を変えた軍事医学の発展を記録。近代化と機械化の進んだ両大戦における負傷兵に対する医療技術が、やがて民間において利用できるに至るまでが示されており、抗生物質、形成外科、チフス、マalaria、火傷、そして精神医学に関する医療的、免疫学的、そして遺伝学的なものも含めたさまざまな資料が含まれています。

【収録資料一例】

- ✓大英図書館所蔵のアレクサンダー・フレミングの 36 巻におよぶノート。手書き文字認識 (HTR) 技術によって検索が可能になりました。
- ✓体力検査と精神衛生訓練に関するジュリアス・S・シュライバーの文書。(シュライバーは、19 世紀から 20 世紀初頭に活躍したドイツの内科医で内視鏡の開発者として知られる。)
- ✓スタンホープ・ベイン=ジョーンズ(アメリカの陸軍軍医にして細菌学者)コレクションより米国チフス委員会および国防総省疫学委員会に関する資料
- ✓イギリスの上級軍人の個人文書。個人的な日記、書簡のほか、関連する公式文書を含む
- ✓イギリス公文書館所蔵の両大戦に関する医学史家ファイル (WO222: War Office: Medical Historians' Papers)
- ✓アメリカ・デューク大学の関係者によって第二次大戦下のイギリス・サフォークに設置された”第 65 総合病院”の医師であるイヴァン・ブラウン (Ivan Brown)、レオ・アレクサンダー (Leo Alexander ※ニュルンベルク裁判にも関与した神経学者)、ノーマン・ロス (Norman Ross)、およびオピー・ノリス・スミス (Opie Norris Smith) の文書
- ✓英米の軍事医療関係者の個人的な書簡と日記
- ✓有名な精神医学者オーブリー・ルイス卿に関する資料
- ✓スイスの実業家アンリ・デュナンによって設立されたジュネーブ国際赤十字・赤新月運動に関する一次史料
- ✓アレクサンダー・フレミングによって開発されたペニシリンと輸血の進歩のために英国映画協会 (BFI) が制作した第二次世界大戦の映像集

ナイチンゲール文書およびアレクサンダー・フレミング文書が手書き文字認識可能に！

本データベースによって、戦時中の医学で最も重要な2人の人物の文書が、全文検索可能となりました。

The Florence Nightingale Papers

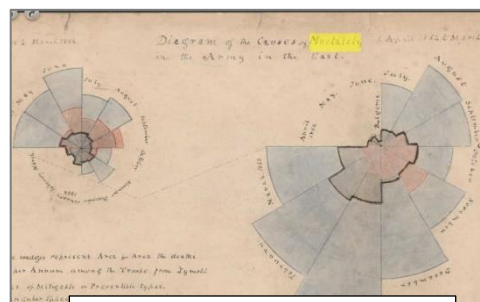
- ・ナイチンゲールによる統計分析、報告書、ロビー活動、立法者や貴族との協議などを含む、活動の初期から名声を得るにいたる専門的かつ個人的な文書を広範囲にわたり検索することができます。
- ・ナイチンゲールの有名な「鶏頭図＝円グラフ」を模して、彼女の使用語彙を視覚化できます。このユニークなコレクションに含まれる書簡、メモ、報告書を分析して彼女の傾向を特定することができます。

Alexander Fleming Papers

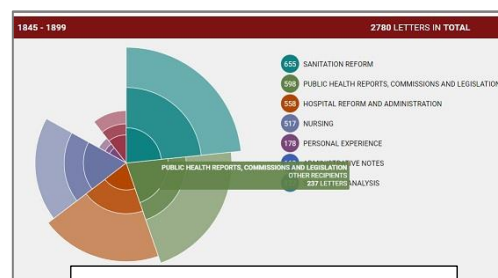
- ・フレミングのノートはセクション単位で索引付けされており、彼の記録を実験毎に閲覧できます。このノートには、20世紀最大の医学的進歩の1つもいえるペニシリンの発見が含まれます。

【原本所蔵機関】

- ・Briscoe Center for American History, The University of Texas at Austin
テキサス大学オースティン校ブリスコー米国史センター
- ・British Library 大英図書館
- ・The BFI (British Film Institute) 英国映画協会
- ・Duke University Medical Center Library & Archives デューク大学医療センター図書館・アーカイブ
- ・Hoover Institution Library & Archives フーバー研究所図書館・アーカイブ
- ・International Federation of the Red Cross and Red Crescent Societies, Geneva
ジュネーブ国際赤十字・赤新月社連盟
- ・Kings College London ロンドン大学キングス・カレッジ
- ・Library and Archives, Canada カナダ国立図書館・文書館
- ・National Museum of Civil War Medicine 国立南北戦争医学博物館 (NMHM)
- ・Special Collections, Leeds University リーズ大学特別コレクション
- ・The Museum of Military Medicine, UK イギリス軍事医学博物館
- ・The National Archives, UK イギリス国立公文書館
- ・The New York Academy of Medicine ニューヨーク医学アカデミー図書館
- ・U.S. National Library of Medicine アメリカ国立医学図書館
- ・United States Army Heritage and Education Center, Carlisle Barracks アメリカ陸軍遺産教育センター(USAHEC)



ナイチンゲールによるクリミア戦争における死亡率を視覚化した「鶏頭図」



ナイチンゲールの文書をテーマ毎に表示する分析ツール

【主なテーマ】

救急医療制度 / 障害者 / 院内治療 / 医療開発および医療器具 / 精神衛生 / 看護 / 個人の体験 / 公衆衛生、公共福祉および社会改善 / 傷痍兵のリハビリテーション(社会復帰) / 衛生管理 / 外科手術 / 戦争における女性の役割

Module 2: 1928-1949 にて追加されたテーマ

血液保存および搬送 / 火傷治療 / 形成外科 / ペニシリンと抗生物質の開発 / 人道的支援 / 戦間期のヘルスケアの向上 / 基礎体力と身体能力の向上 / ワクチンと解毒剤

【収録資料の種類】 病院報告と病院台帳 / 通信文書 / 覚書、日記 / 書籍、定期刊行物 / 地図、図表、病院設計図 / 写真、はがき、イラスト / 政府文書 / 研究ノート / 写真、動画、音声

医療と戦争の歴史アーカイブ Medical Services and Warfare

【編集委員】

ジュリー・アンダーソン(ケント大学)
セバスティアン・ブラウン(カンタベリー・クライストチャーチ大学)
クリスティーナ・ハレット(マンチェスター大学)
ピーター・リース(コペンハーゲン大学)
サンダース・マーブル(陸軍医療局、AMEDD)
エミリー・メイヒュー(インペリアル・カレッジ・ロンドン)
リン・マクドナルド(カナダ・ゲルフ大学)

ジェシカ・マイヤー(リーズ大学)
メラニー・オッペンハイマー(オーストラリア・フリンダース大学)
ハンス・ポルス(シドニー大学)
テリー・レイマー(国立南北戦争医学博物館)
ジェフリー・レズニック(米国国立医学図書館)
デイル・スミス(ユニフォームドサービスズ大学)

Medical Services and Warfare: Module 1 によせて

■ 軍事史、医療・医学史の分野を超え、新たな研究材料を提供してくれる史料群

東洋英和女学院大学 国際社会学部 平体 由美 教授

近年、軍事史研究と医療・医学史研究の接合が様々な角度から試みられている。そこから生み出されている知見は、軍事史と医療・医学史それぞれの枠組みを押し広げ、国際関係史はもとより、科学技術史、ジェンダー史、植民地医療史、精神保健史などの再解釈を促している。本コレクションはそのような研究に様々な材料を提供するものである。

19世紀半ば以来、英米では、軍隊の構成員として働く兵士や軍属・後方支援者を守り、傷病で倒れた者を可能な限り早期に戦線に復帰させることが、戦争遂行の重要なプログラムの一つと認識されるようになった。これは①現場の兵力の低下を可能な限り食い止めること、②社会の側、特に兵士を送り出す社会階層による軍隊忌避および政府批判を回避すること、③民間団体や専門職集団による戦争協力を継続的に確保すること、が肝要であるとの判断が働いていたことによる。以降、医療は軍隊の維持管理に密接に関わる事項となり、また戦争は医療職を動員することで医療の知識と技術を拡散・発展させる場を提供するものとなった。兵の訓練と配置準備、輸送展開、戦闘、後方支援に医療はその都度関わっていただけでなく、現場の活動を通して医者の技術を引き上げ、兵士を対象とした実験や戦死者の解剖により医学的・公衆衛生的知見を積み上げ、また男性だけでなく女性の看護者・看護支援者（傷病兵輸送支援など）の活動の場を広げた。

本コレクションは、総力戦化が進行する19世紀半ばから1920年代の、主としてイギリスとアメリカにおける、軍隊と医療が接合した分野の史料を収集したものである。軍陣と軍隊の管理という政府直轄の事項だけでなく、植民地医療知の循環、医療従事者の育成訓練の近代化、兵士の看護をめぐるジェンダーの問題、各種財団や赤十字などの非政府組織を含む戦争遂行システムの構築など、様々な分野の研究を充実させる重要な史料がまとめられている。これを足がかりとして、さらなる新しい知見の提示が期待される。

【価格体系】

FTEにより価格が異なります。価格は概算参考価格(税抜)です。

FTEは人文社会科学系学部の学生数(学部生+院生)より算出いたします。

	FTE <5,000 (Band 0)	FTE 5,001-10,000 (Band 1)	FTE 10,001-15,000 (Band 2)	FTE 15,000< (Band 3)
Module 1	お問い合わせ下さい	お問い合わせ下さい	お問い合わせ下さい	お問い合わせ下さい
Module 2	お問い合わせ下さい	お問い合わせ下さい	お問い合わせ下さい	お問い合わせ下さい

◇ 完全買い切り・アクセスフィー無し ◇ バックアップHDD提供可能(有償) ◇ 同時アクセス無制限

◇ 無料トライアル 受付中！(機関・個人ともに1か月間)